

2023年05月 現在

FUJITSU Software

Interstage List Creator Connector V11.0.0

本商品は、Interstage List Creator Standard Edition / Enterprise Editionと連携した分散帳票出力環境を構築する機能を提供します。

本商品を使用することで、帳票生成の負荷をアプリケーションサーバから分離した分散環境の構築が容易にかつ安価に行うことができます。

- サーバ

SPARC Enterprise Tシリーズ / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Servers / マルチベンダーサーバ・クライアント / FUJITSU Cloud Service for SPARC

- ・ サーバ

Solaris 11(64bit)

1. セールスポイント

- ・多様な帳票出力環境の提供

アプリケーションサーバと帳票出力サーバを分散させた分散帳票出力システムを従来よりも低コストで実現できます。コネクタ機能では、アプリケーションサーバで帳票定義情報や入力データを一元管理し、帳票出力時に帳票出力サーバに転送して出力することができます。また、帳票出力サーバで生成したExcelファイルやPDFファイル、OWFファイルを要求元サーバに戻すこともできますので、アプリケーションサーバの負荷を別サーバに分散することができます。

2. Webアプリケーション製品との連携

Javaインタフェースにより「Interstage Application Server」と連携したシームレスな帳票出力を実現することにより、Webシステムの開発工数削減や本格的なビジネス帳票運用が可能となります。

3. 多様な分散帳票出力機能

Interstage List Creator Standard EditionまたはInterstage List Creator Enterprise Editionと連携することでネットワークに負荷を掛けない大量分散帳票出力環境を提供します。

コネクタ機能により、サーバ機能製品（Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition）が動作する別のサーバ（Oracle Solaris(TM) Operating System(以降Solaris OSと略)、Windowsサーバ）への大量帳票出力ができます。これにより、アプリケーションサーバの負荷を分散した帳票出力環境を構築できます。

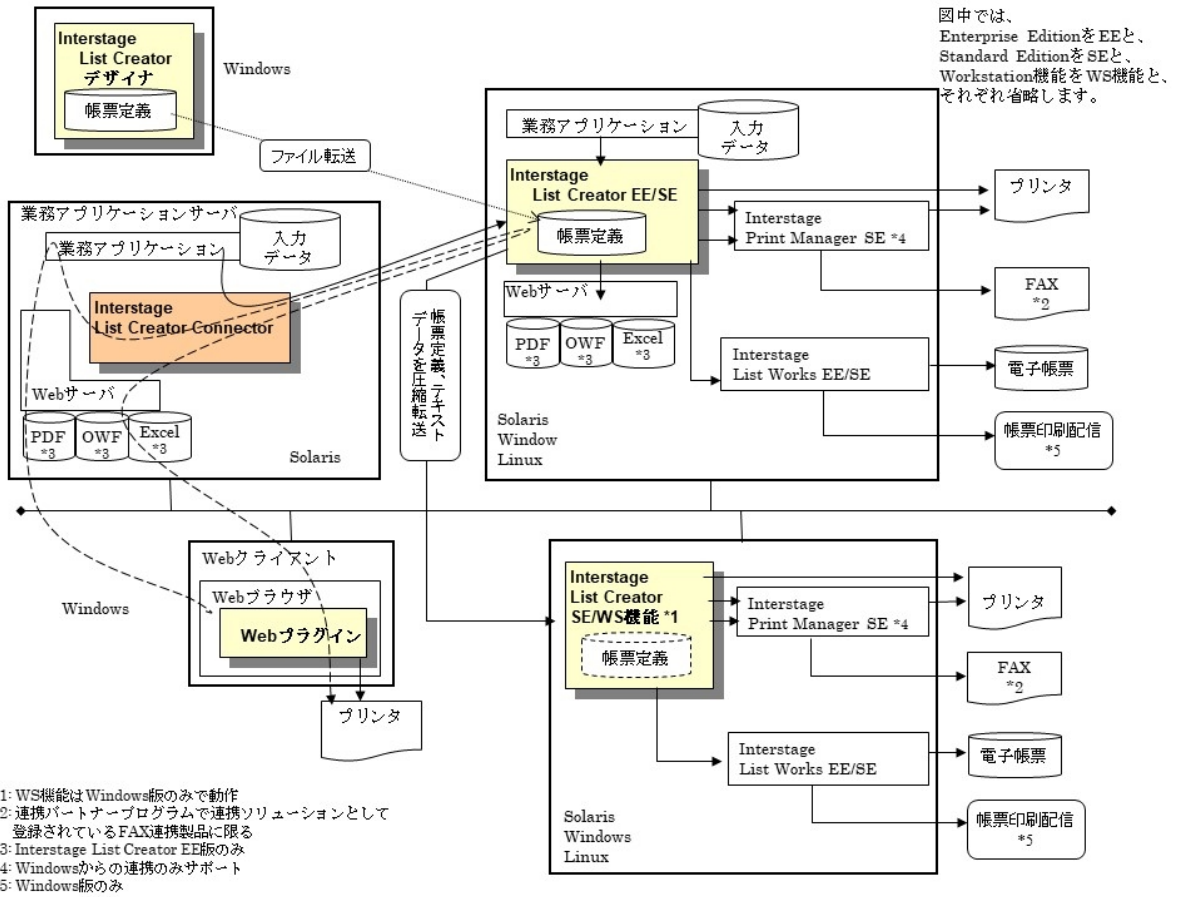
また、コネクタ機能により、サーバ機能製品（Interstage List Creator Enterprise Edition）が動作する別のサーバ（Solaris OS、Windowsサーバ）でExcelファイルやPDFファイル、OWFファイルを作成して、作成したファイルを要求元サーバに転送することもできます。これにより、WWWクライアントからの要求で、WWWサーバ側で指示を行ってWebアプリケーションサーバ上でExcelファイルやOWFファイル、PDFファイルを作成し、WWWサーバに転送して、WWWクライアントで参照や印刷を行うといった、Webアプリケーションサーバ - WWWサーバ - WWWクライアントの3階層のWeb環境を簡単に構築できます。

Solaris OSから、Windowsサーバへ帳票出力を行うことで、Windows版 Interstage List Creator、Interstage List WorksやInterstage Print Managerが提供する機能を使用することができます。

4. 利用による効果

- ・Solaris OSやWindowsといった異なるオペレーティング・システムが混在した環境であっても、帳票出力業務を短期間で構築することができます。
- ・入力データがテキスト形式、CSV形式またはXML形式であり、分散帳票出力時のデータ転送サイズを小さくすることができ、LAN-WAN-LAN環境でもネットワーク帯域を有効に活用することができます。
- ・印刷処理から電子帳票保存への切替えなど、帳票業務の変更が短期間で簡単に行えます。お客様の業務アプリケーションを変更する必要はありません。

システム/機能構成図



V10.0.0からV11.0.0の機能強化項目は以下のとおりです。

1. 帳票出力機能の強化

Javaインタフェースについて、コネクタ連携を行う場合、64ビットのJava実行環境に対応しました。

- ・ オンラインマニュアル
 - ・ マニュアル体系と読み方
 - ・ リリース情報
 - ・ 解説編
 - ・ 帳票設計入門ガイド
 - ・ 帳票設計編
 - ・ 環境設定・帳票運用編
 - ・ アプリケーション作成ガイド
 - ・ PDF変換機能編
 - ・ Excel ファイル出力機能編
 - ・ COBOLアプリケーション連携機能編
 - ・ ERP連携編
 - ・ トラブルシューティング集
 - ・ メッセージ集
 - ・ 用語集

【メディアパック】

- ・ Interstage List Creator Connector メディアパック (32bit) V11.0.0

【ライセンス】

- ・ Interstage List Creator Connector プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V11

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(CD/DVD等)のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途 ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下の通りに必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサ（CODモデルの場合はCPU RTUライセンスを持つ1稼働CPU）あたり1本の購入が必要です。

- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

- SPARC M12/M10 では、CPU コアアクティベーションキーにより有効化されたコアの総数に特定の係数を乗じます。

- SPARC Enterprise/PRIMEPOWER のCOD モデルでは、CPU RTU ライセンスを持つ稼働CPU 上のコアの総数に特定の係数を乗じます。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

3. クラスタシステム（運用待機形態）で運用する場合の購入方法

1対1運用待機形態で運用する場合は、2ノードを1システムと考えて、1システムに本商品を1つ購入することで使用することができます。

4. クラスタシステム（運用待機形態以外）で運用する場合の購入方法

各ノード単位に、本商品を購入する必要があります。

5. ダウングレード使用（旧バージョン商品の使用）について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用（本商品の旧バージョンを使用）する権利はありません。

対象のバージョンを使用する場合は、対象のバージョンに対応したライセンスをご購入ください。

6. 7.x以降からのバージョンアップについて

7.xの本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、新バージョンを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SE にお問合せください。

7. 6.x以前からのバージョンアップについて

6.x以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SEにお問い合わせください。

1. 必須ソフトウェア

以下のいずれかが必要です。

Windows版 Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V7.0L10以降、または
Solaris版 Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition 7.0以降(Solaris版)、または
Linux for x86(PRIMERGY)版 Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V7.0L10以降、または
Linux for Itanium(PRIMEQUEST)版 Interstage List Creator Enterprise Edition V7.0L10以降、または
Linux for Intel64(PRIMERGY)版 Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V9.1.0以降

2. 帳票設計をする場合

Windows版 Interstage List Creator デザイナ V10以降

1. 負荷分散運用を行う場合

IPCOM EX2-1100、IPCOM EX2-3200、またはIPCOM EX2-3500

1. クラスタシステム上での動作について

本製品は、フェールオーバーには対応していませんが、クラスタシステム上で動作可能です。

2. IPv6について

IPv6のグローバルユニキャストアドレス、ユニークローカルユニキャストアドレスのみが使用できます。

3. 前版との差異について

(1) V11.0.0より、以下のOSでの利用はサポート対象外となります。

- Solaris 10
- Solaris 9

(2) V11.0.0より、以下の機能はサポート対象外となります。

- Navigator連携
- XBRLデータ対応機能
- 旧機能のDatabase Direct連携機能
- 旧機能のJavaインタフェースの以下のメソッド
 - ・ PrintPropertiesクラスの旧メソッド
- CFXカスタムタグインタフェース
- List Managerとの連携機能

お客様向けURL

- ・ **ソフトウェア：富士通（Interstage List Creator）**

本商品の詳細は、以下のホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/listcreator/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>